

令和 6 年度 グループホームはなみずき 外部評価結果（公表用）

項 目	内 容
自己評価実施日	6 月～10 月
外部評価日	令和 6 年 12 月 19 日「自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール」 令和 7 年 2 月 20 日「目標達成計画」
実施方法	グループホームはなみずき運営推進会議 「自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール」 「目標達成計画」
外部評価者	北浦地区自治会長、伯方地区連合老人クラブ会長、伯方地区民生児童委員協議会 会長、今治市伯方支所保健師、グループホームはなみずき家族会会長 指定居宅 介護支援事業所あすなろ管理者、グループホームはなみずき管理者等 計 11 名
開示状況	利用者及びその家族へ送付 今治市に提出 施設内に掲示 （法人ホームページに掲載予定）

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホームはなみずきの理念はパンフレットや各フロアーの良く見える所に掲示し、利用者も見れるようしている。			新型コロナ禍で社会全体の慣習が一変し、人口減少による外国人実習生への依存が顕著化しています。今後も理念の実践のため、利用者・家族・地域との絆を大切にします。
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者及び職員は地域一員として毎年、春市や虫送りに参加していました。(コロナ禍後の面会、外出は法人全体で制限している。)昨年から子供と大人神輿2台が来てくれました。	交流の制限はしかたないが、少し制限を緩くしてほしい。感染対策行った上での面会が出来るように、少しずつでも地域との交流が再開できる。秋祭りの際に、地域の催しが来てくれ参加出来て良かったと思います。		法人全体で面会制限中ですが、法事など家族の希望が強い場合は3密を避け3～7日間の居室対応で、外出の許可を出している。残念ながら毎年の様に職員から利用者数人に感染しています。その度に1～3週間位は職員が完全防備で居室にて隔離治療しています。希望者にタブレット端末によるテレビ電話で様子を伝えています。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2か月に一回地区の自治会長・民生委員会長・老人クラブ連合会長・市保健師さん等を招き開催している。毎月の活動内容や事故報告などしてサービスの向上を図っている。(コロナ禍は書面郵送し意見聴取あり。	定期報告資料を作成し丁寧な報告をされています。丁寧な説明で分かりやすい。十分に出来ていると思います。		現在も面会制限がある中、公共集会所で2か月毎に町内の各代表に各フロアーの様子を冊子まとめ 報告し意見を求めています。(コロナ禍は利用者家族全員に資料や結果を送付した)
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域包括支援センターの研修会には毎回参加し、開設2年目法人全体で認知症サポーター研修を、昨年も高齢者虐待研修を受けました。処遇困難事例の受け入れ等もありました。福祉避難所に指定されました。	市町村、包括支援センター等との連携は不可欠です。市町村との連携が取れているようで、体制は整っていると思います。		地域介護の中心窓口として、福祉避難所指定や認知症サポーターや各種研修の提供の場として、市や包括支援センターと協力関係がとれている。
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内の身体拘束委員会もあり、何度も研修を受け、何が拘束に当たるかほぼ理解している。スタッフ会でも定期的に取り上げ、人権侵害のないケアを目指しています。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年4回の研修をしています。何が身体拘束になるか、利用者へ重大な危険を避けるため、3要件を満たせば家族の同意をえて実施される。

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	令和6年度よりの高齢者虐待防止措置の義務化に伴い、委員会の設置や指針の策定や年4回の研修している。残念ながら一部不適切な声掛けや原因不明な打撲や皮膚剥離の発生がある。不適切なケアから虐待の発生を防ぐ研修や手段を検討します。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者・家族さんからの苦情により。残念ながら暴言事例が発生しました。虐待に繋がる不適切なケアに何が当たるか、再度研修内容を検討し直し再発の防止に努めます。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員や入居者やその身元引受人に任意後見人になっている方が複数人いる。そのため、スタッフ会で地域包括支援センターで作っている資料を使って権利擁護等の研修している。			成年後見・任意後見や補助・補佐・後見について、それぞれの裁判所・司法書士・家族・監督人の役割について毎年スタッフ会で学習している。
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護報酬の改定があれば、その都度運営推進会議に諮り、入居者家族に重要事項等の変更部分の説明をした後に、同意を頂いている。			介護報酬や加算の改定時には、事前に利用者家族に説明し、文書にて同意書を頂きます。
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の面会制限が起きたが、その対策に国の補助制度前に法人で3台のタブレット端末を購入しリモート面会を始めました。2月毎の運営指針会議の資料を家族にも送付し意見を頂いていました。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2か月毎の運営推進会議兼家族会の出欠及びその他意見聴取を毎回全家族に送付しています。月刊あすなる便りを毎月の請求時に同封しております。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月のスタッフ会等で出た様々な意見を選考し、修繕や物の購入等については代表者へ、職員の高齢化による業務の改善は各部署で、職員不足は法人で協議している。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	常に各職員の家庭事情や再雇用者に配慮し、勤務を変更し対応している。国の方針に添い各種加算や手当は遅滞なく実施している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月のスタッフ会やアンケートなどで職員の意見を求めています。重要な意見は理事者の方に挙げています。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新人には熟練職員が付き添い、チェックシートを使用し概ね3月指導する。新規資格取得者には基本給の見直しが行われる。市が開催する研修会には積極的に参加している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	5年目を迎える、外国人実習生の受け入れに於いては、資格取得や買い物、通院等の生活全般に協力支援しています。

13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍前は今治市グループホーム協議会に加入し、2 か月毎の各種職員研修に適宜参加していた。コロナ禍後は開催中止となっている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	平均年齢 90 歳で車椅子の方が半数以上となり、それぞれの日々の思いに傾聴し、表情や言葉の変化に気付けるよう努める。利用者の出来ることの把握に努め得意な事をして頂くが、コロナ禍で制限されている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外出制限で希望者に窓越し面会やタブレット端末によるテレビ電話を、外出は車外に出ない車窓ドライブをしている。コロナ禍前は法人による月祭りや虫送り、春市、秋祭り等沢山の行事に参加していたが、中止としている。	感染対策として、出来る範囲の対応と思います。屋外であれば制限緩和してもいいのでは？今後、感染に留意し地域行事に参加できるようにすると良いですね。		感染の動向を注視し母体の医師により、現在も法人全体で原則は面会や外出制限されています。家族の希望により 3 密を避け 3～7 日間の居室対応で外出許可しています。
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所時に生立ちや趣味や生活状態等を調査したらしきシートを作成し、職員が必要に応じ見ている。コロナ 5 類移行後は、法事など家族等の希望が強い場合は 3 密を避け 3～7 日間の居室対応で、外出の許可を出している。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月のスタッフ会で 3 ヶ月毎のモニタリングと 6 ヶ月毎に必要な応じてプランの変更を、家族や医師等多職種の意見を得て、その度に家族に同意を得ている。	家族・医師・薬剤師などの多職種の参加と意見を求めている、よく出来ていると思います。今後も毎月のスタッフ会で変更の必要性等の継続をお願いしたい。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月のスタッフ会で、変更が必要か検討しています。必要に応じ計画は変更されます。変更には家族さんの同意を得ています。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の個別ケア記録は、生の本人の言動を中心に気付を記すよう努めている。毎日の送り表にて、服薬変更や重要なケアが確認できるようにしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	送りには、バイタル・食事水分・排泄を中心に、特に気になる言動等があれば家族に連絡相談し介護に臨んでいます。

19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全家族の市外在住者が7名おられ、給付金・介護保険事務など行政手続・預り金で買い物・通院介助等を代行している。	利用者の各々の状況に応じ、必要な支援がおこなわれているようで、家族は安心ですね。 今後も収支の透明化をし、よろしくお願いします。		今後ご家族の要望があれば、可能な範囲内で出来ることは、お手伝いします。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍前はギターの生演奏による歌やボランティア団体による踊りや人形劇をしていたが、中止としている。車外に出ない車窓ドライブをしている。昨年から大人や子供神輿2台が玄関前に来てくれ皆さん大変喜ばれました。新たな地域資源を発掘しなければならぬ。	各種団体は活動を再開しつつあります。少しでも楽しみが増えるよう願っています。 今後、早く地域資源が使えるようになればいいですね。 また新たな地位資源の把握や協働の方法など見直しが必要だと思います。		コロナ禍後の各種団体の動向を把握できてない。面会等制限の緩和に向けて、依然の各種団体との協働が再開可能か問い合わせ及び新たな地域資源の発掘に努めます。
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の希望をかかりつけ医にお伝えする関係は築けている。異変あれば看護師から主治医に報告し受診を検討する。受診の際は家族に連絡し、結果も詳しく家族に報告する。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院の際には必ず職員が同行し、サマリー持参し、退院時も家族との同行に努めている。市内の2病院の地域連携室とは電話相談できるようになっている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症の方は病院での処遇が難しく、その為にサマリーを詳しく記入しています。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	開設7年間に家族の強い希望で11名(退所者52%)の看取りをさせていただきました。これには法人内の他部所の医師や看護師等の手厚い応援によるチームケアで実現しました。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍には病院では親の死に目に会えないと、ご家族の強い要望で看取り希望が倍増した。今後も医療連携を密にし、面会や外出の規制緩和を図りたい。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	熟練職員には実践力があるが、若手の職員は研修での訓練経験はいくらかあるが、いざという時に実践できるか不安がある。定期的に訓練を行う必要がある。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループ全体で非常災害・防災対策マニュアルや要配慮者利用施設の避難確保計画を策定している。火災避難訓練は毎年2回実施	災害発生時に、直ぐに行動に移せるように、想定した避難等の訓練を行う必要があります。出来ることから少しずつ施設内、地域と体制を築けると	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	非常災害対策では震度6強の地震と最大4.7mの高潮被害が想定されています。GHは海拔4.6mで10Cmの浸水が想定されます。地震時は

				施している。高台にあり耐震化建物で非難は想定しにくい。(避難する方がリスクが大きい)	よい。日々動けるように訓練する事が大切です。		耐震化建物で躯体に重大な損傷ある場合は、老健あすなろや神社に避難をする。避難訓練を計画検討します。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	優しい声掛けを心掛けているが、度重なるとつい忘れて大きな声が出る。人権や尊厳等スタッフ会等で研修しているが、すべての人が実践で居ているとは思えない。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者・家族さんからの苦情により、残念ながら暴言事例が発生しました。虐待に繋がる不適切なケアに何が当たるか、再度研修内容を検討し直し、再発を防ぐよう努めます。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は各々のペースを把握しており、個人の意向や体調を考慮し、食事を居室でしたり、入浴を変更したりの対応しております。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	献立の説明や感想を尋ね、楽しい食卓になるようしている。個々の能力に応じ、食事の注ぎ分け等職員と一緒にしてもらっている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	平均年齢 90 歳で出来ない事が多くなっている。柿の皮むき等出来ることをしてもらっている。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の利用者の病状に応じて、食事や水分の摂取量を看護師等に相談し記録している。			心不全等の重度の利用者の状態に応じ、日々の体重や食事・水分量を記録し送りしている。
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者全員の口腔内の状態を歯科衛生士により把握し、注意点を担当者に伝え、歯磨き対応している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	必要に応じ、歯科衛生士による、口腔内チェックや義歯清掃状況チェックを受け、担当職員に留意点を伝えている。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者全員の日々の排泄パターンを把握し、必要に応じトイレ誘導している。便秘がちな方は、散歩や乳製品を多めに摂取していただく。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排便チェック表により利用者の排便パターンを把握し、便秘3～4 日で看護師に連絡しています。

32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一応入浴日は週3回に決めており、個々の健康状態等にて時間を変更する。自分のペースでゆっくりと入浴してもらっている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	平均年齢90歳であるため、年齢や体力・体調に応じ、仮眠やゲーム、散歩などにお誘いしている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者毎のお薬ファイルが用意され、変化があれば看護師を通じて医師より内服変更が行われると、内容を送りされる。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月のカンファレンスには薬剤師の出席もあり、看護師による新処方薬や残薬チェックされている。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	平均年齢90歳で畑や花壇の出来ていたことが少なくなった。やりたいことや出来ることを探してやってもらっている。ゲームや車窓ドライブや四季のオブジェ作りをしています。面会や外出が制限されているため、十分でない。	外出制限される中、出来ることを探してやっている、今後も沢山やれることを創造してもらいたい。 高齢化で活動内容にも限界があります。利用者に合ったささやかな支援でよい。 年齢的・季節的・意欲が起こりにくいと思います。 少しでも外出の機会が増えるよう願います。		現在も法人全体で原則は面会や外出制限されています。制限解除に向けて、新鮮な空気を吸える、敷地内日向ぼっこや散歩を計画したいと思います。3密を避けたドライブ等を計画したい。インフルエンザや新型コロナウイルスの感染状況を見定め、医師の助言を併せて外出や面会の規制を緩和を図ります。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ5類移行後も外出や面会が制限されている。法事など家族等の希望が強い場合は3密を避け3～7日間の居室対応で、外出の許可している。希望者に、誰とも接触しない車窓ドライブでバラや風景を見学に出ている。	出来る範囲で現状に応じた対応が出来ていると思います。 最大限努力されていると思います。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	数人が自分で少額なお金を管理している。法人全体がコロナ対策継続中で外出や面会が制限されている。職員が買い物支援を行っている。			

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望があれば、電話やライン通話ができるようにしている。希望者には葉書や手紙を書いてもらって、お送りしている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能や残る力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるよう工夫されている。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者個々の移動の状態を把握し、バリアフリーとして車椅子等の方は動線上に物を置かない、杖の方はソファや椅子で伝い歩き出来るようにしている。気性の合わない方は適宜席替えしている。四季の壁面作りで季節を感じてもらっている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	サービス付き高齢者向け住宅の規格を採用し、居室も廊下も広くバリアフリーで要所にソファがあり中庭の花木を眺められ季節を感じてもらえる。
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人全体で外食や外泊が制限されている。希望者にはライン電話しています。帰宅願望を訴える時は、家族との会話や実家を見学する等して、気分の転嫁を図っている。			インフルエンザや新型コロナの感染状況を見定め、医師の助言を併せて外出や面会の規制を緩和を図ります。
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所時に家族から聴取した「らしさシート」や、毎年専属の担当者を決め、その人となり把握し、日々の生活の支援に努めている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の健康を把握し変化があれば、家族や医師や看護師と連携し、安全・快適に暮らせるよう努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	変化があればご家族にその旨お伝えし、医師や看護師に相談・受診等してその結果をご家族に報告しています。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	平均年齢 90 歳と高齢化が進み、花壇や菜園の世話ができなくなった。仮眠やおしゃべり・塗り絵など各自のペースで生活されている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	壁芯で 5.5 ㎡と広い居室で自宅での生活と相違なく、慣れ親しんだ家具やペット・仏壇や位牌を持ち込み生活されている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基準の 4 倍以上居室面積があり、ミシンや数々の家具や仏壇を持ち込まれています。

45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	残念ながら未だに新型コロナ感染が散発しており、自由に外出できません。昨年より神輿が来てくれるようになりました。	入所後のコロナ制限により、一度も入室していない。制限緩和の可能性ありますか。感染防止優先の制限内容は今のままでよいか？ 外出しなくても、施設内で催(祭)物を行うなどして、体験できるのではないのでしょうか。		施設内での職員等による催し物や軽運動の充実を図ります。インフルエンザや新型コロナの感染状況を見定め、医師の助言を併せて外出や面会の規制を緩和を図ります。
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	高齢化に伴い認知症も重度化している。職員は一人ひとりの変化を共有して、少しでも楽しく過ごせるよう新しい役割を見つけるよう努めている。			高齢化がすすみ、車いす使用者や耳の遠い方が多く、認知症も相まって菜園や花壇の手入れなど出来る事が少なくなった。出来る方には使い慣れたミシンを使ったり、ピアノを弾いてもらう等昔から得意なことを職員がリクエストする等している。
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	同上であるが、午前と午後のティータイムには、気の合った利用者が談笑されている。レクはゲームや壁面づくりやドライブにお誘いしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	残念ながら未だに新型コロナ感染が散発しており、法人全体で窓越し面会の状態です。自由に近所に外出できません。昨年より神輿が来てくれるようになりました。	外出制限があるため、交流ができないのが残念です。 窓越し面会でも十分地域交流ができるのではないでしょか。		インフルエンザや新型コロナの感染状況を見定め、医師の助言を併せて外出や面会の規制を緩和を図ります。
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	残念ながら未だに新型コロナ感染が散発しており、法人全体で自由に外出できません。ライン電話や車窓ドライブで四季を感じてもらよう努めています。	早く外出制限が無くなるとよいですねー。 外出できなくても、様々な方法で地域とつながることが出来ていると思います。活動報告の写真から利用者皆さんに笑顔が見られるので、心地よい暮らしをされていると思います。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	開設からの経緯によるとグループホームはなみずきを終の棲家とされる方が半数見込まれます。この息苦しい面会制限を今後の糧として、職員一同「その人に寄り添い、笑顔と笑い声があふれる」グループホームはなみずを目指します。

(別表第1の4)

目標達成計画

事業所名 グループホームはなみずき

作成日: 令和 7 年 2 月 20 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間	目標達成状況(任意)
1	26	ご利用者・ご家族からの苦情により、暴言を吐いた事例が発生しました。ご利用者に不適切な言葉遣いや大きな声が出た場合、お互いに注意できるよう職員全員で不適切ケアの防止に努める。	ご利用者一人ひとりの人権を尊厳し、誇りやプライバシーを損ねない言葉遣いや対応をする。全職員は不適切な言動を見聞きした場合は、直ぐに注意しあえるチームケアができるようにする。	全職員は不適切な言動を見聞きした場合は、直ぐに注意し、管理者等に報告する。その経緯や内容を調査し厳正に対処する。不適切ケア該当者の振り返りシートを作成し報告する。	12 か月	介護職として接遇・拘束・虐待など、基本的な研修を再度行う。職員は不適切ケアを見聞きした場合は直ちに上司に報告する。上司は報告を受けた内容についてチーム全体で検証し改善する。
2	6	ご利用者に対する不適切ケアが常態化すると虐待に繋がる恐れが多大にあります。お互いに注意できるようチームケア環境をつくり虐待の防止を図る。	全職員が何が不適切ケア該当し、それを防ぐことで虐待の未然化を図る。職場内の研修やリモート研修を積極的に受講し、高齢者虐待を未然に防ぐチームケア体制づくりに努める。	管理者や主任は不適切な言動を見聞きした場合は、その経緯や影響を調査し厳正に対処する。不適切ケア該当者は振り返りシートを作成し報告する。	12 か月	
3	36	コロナ5類移行後も外出や面会が制限されている。法事など家族等の希望が強い場合は3密を避け3～7日間の居室対応で、外出を許可している。希望者に、誰とも接触しない車窓ドライブでパラや風景を見学に出ている。	現在も法人全体で原則は面会や外出制限されています。利用者や家族の希望に沿って、外出や外食及び外泊が少しでも多くできるように努めます。。	現在も法人全体で原則は面会や外出制限されています。制限解除に向けて、新鮮な空気を吸える、敷地内日向ぼっこや散歩を計画したいと思います。3密を避けたドライブ等を計画したい。インフルエンザや新型コロナの感染状況を見定め、医師の助言を併せて外出や面会の規制を緩和に努めます。	12 か月	
4	24	利用者の急変や事故発生時に備え、応急手当や初期対応の訓練がコロナ禍で十分でない。熟練職員には実践力があるが、若手の職員は研修での訓練経験はいくらかあるが、いざという時に実践できるか不安がある。定期的に訓練を行う必要がある。	コロナ禍前はグループホーム協議会等で定期的に訓練されていたが今は中止になっている。	法人全体で今治北消防署に相談して、消防署による開催を検討する。	12 か月	
5						

注1)項目番号の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。